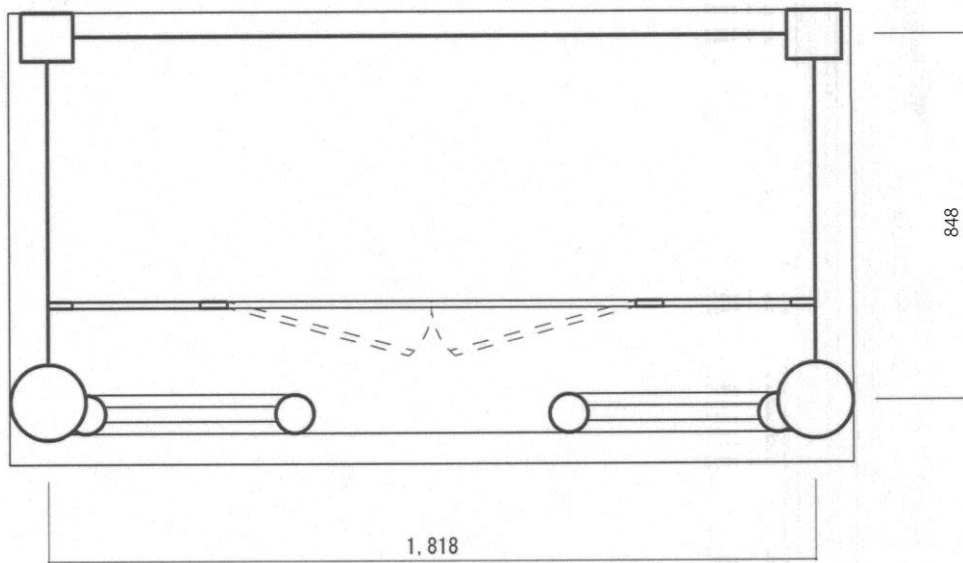
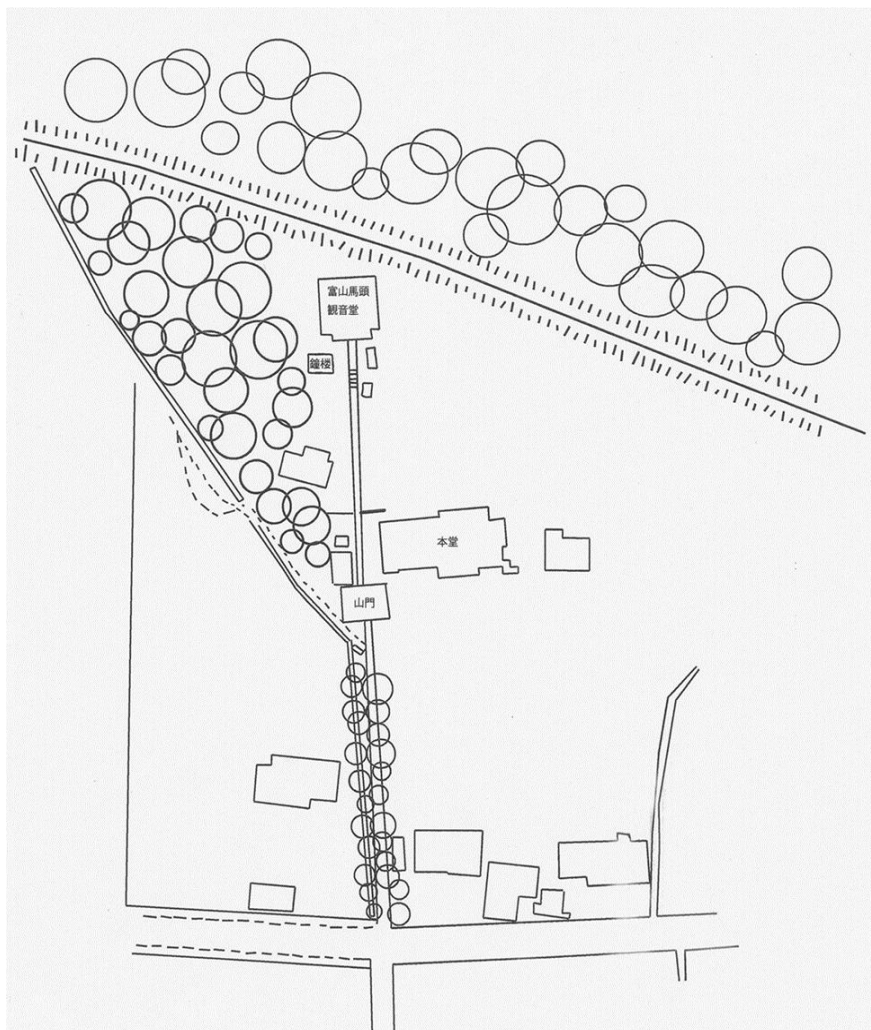


富山馬頭観音堂 平面図

新庄総合高等職業訓練校建築科の図面（昭和54年）をもとに作成



観音堂宮殿 平面図



配置図

県指定文化財（答申）の概要

種 別	有形文化財（絵画の部）		
名 称	絹本著色地蔵十王像	員 数	1 幅
所在地	東京都台東区上野公園 13-9（東京国立博物館寄託中）		
所有者	華蔵院 代表役員 布施 智典		
特 色	<p>（形 状）絹本。著色。掛幅装。 （製作年代）14 世紀前期 （寸 法）表具 211.1×77.6 本紙 114.6×58.9（cm） （特 色）</p> <p>高麗仏画の優品。諸尊の顔は髪、眉、髭などを細い線を引き重ね、淡い暈しを施すなど丁寧に表現されています。着衣には鮮やかな赤が目立つ一方、朱の具、白群、白緑などの中間色も多用され、それらが金泥による細やかな文様によって装飾されており、高麗仏画らしい華やかな画面となっています。</p> <p>画面構成は上部中央に地蔵菩薩を大きく描き、地蔵菩薩の台座の前には合掌する二菩薩が左右対称に配されています。同じように四天王も地蔵菩薩の周りを取り囲んでおり、向かって右上で宝塔を掲げる多聞天の下に道明が描かれています。その下に亡者の審判を行う十王が宝冠をつけ笏をとる姿でV字形に4体ずつ配されています。その下3段には上部よりも一回り小さい人物が描かれており、そのうち上段と中段には十王の従者と思われる人物が描かれ、最下部には武器を手にした獄卒が描かれています。</p> <p>本図の地蔵菩薩は頭巾を被る「被帽地蔵」と呼ばれ、高麗仏画の他の地蔵菩薩と比べると耳を表さない点が珍しく、加えて宝珠の持ち方、胸部を覆う衣、袈裟、台座なども他には見られない特徴を有します。これらの特異な図像の特徴はチベット仏教の流入によるものではないかと推測されています。</p> <p>制作者は不明ですが、宮廷の仕事を受注する絵師の手になるものであり、宮廷様式に分類されるものと考えられています。</p> <p>また、本図における諸尊の配置の窮屈さは、原本よりも小さな画面への模写であるためと考えられています。写しであるということは本図の価値を減ずるものではなく、特異な図像を持つ地蔵十王像をこの世に残したという点が重要です。</p> <p>【高麗仏画】 その名の通り高麗（935～1392 年）において制作された仏教絵画。美術史的に極めて価値の高い絵画であるが、現在確認されている作品数は約 165 件と多くはない。現存する高麗仏画の制作年代は 13 世紀後半から 14 世紀に集中している。</p>		
指定の意義	<p>本図は、渡来品であり我が国の文化にとって意義のあるものです。加えて、高麗仏画の特徴である華麗な装飾美を備えている点、地蔵十王像の中でも特異な図像を有し高麗仏画の成立における西域の影響を示唆する点は我が国の文化史上貴重なものであるとともに、題材、品質、形状又は技法等の点で顕著な特異性を示すものがあります。これらの点から県指定する意義のある作品であると言えます。</p>		



有形文化財（絵画）絹本著色地藏十王像

県指定文化財（答申）の概要

種 別	有形文化財（工芸品の部）		
名 称	熊本藩細川家九曜紋・庄内藩酒井家酢漿草紋 入り雛道具 一式 附 雛道具揃覚 一通	員 数	362点
所在地	鶴岡市家中新町 10-18		
所有者	公益財団法人 致道博物館 代表理事 酒井 忠久		
特 色	<p>(形 状)</p> <p>この雛道具は庄内藩主6代酒井忠真に輿入れした熊本藩細川家の密姫が実際に使用した調度品のミニチュアであり、この雛道具はすべてが黒漆に金蒔絵で酒井家の酢漿草紋と細川家の九曜紋が描かれています。</p> <p>またそれぞれの金具の細工も細やかで凝ったものです。</p> <p>中でも婚礼の際に一番大切にされた貝桶には、195枚の貝合が入っており、蛤の貝殻に金箔を貼り、縁には胡粉を使ったおきあげが施され、絵柄は花鳥風月や源氏物語などが繊細に描かれています。</p> <p>(製作年代) 江戸時代中期</p> <p>(寸 法) 別紙一覧表に記載</p> <p>(特 色)</p> <p>庄内藩主6代酒井忠真に輿入れした熊本藩細川家の密姫は細川越中守綱利の娘で、水戸光圀の姪に当たる人物です。</p> <p>この婚儀は元禄2年(1689)4月のことで、この雛道具も当時のものと考えられています。</p> <p>明和8年(1771)の雛道具揃覚が残されており、その中には「特に大事な道具ゆえ、例え女子が生まれても決してこれは与えず、代々家に伝え置くように」との内容が記されています。覚書の目録の通りにすべてが現存しています。</p>		
指定の意義	<p>この雛道具一式は、蒔絵・金具ともに極めて高度かつ精緻であり、いわゆる雛人形付属の玩具的雛道具とは全く性質を異にし、大家家の婚礼調度の忠実な雛形と言えるものです。また、その内容について明和8年(1771)3月に記した覚書がともに伝わっています。</p> <p>このように制作年代が江戸時代中期に遡り、所用者が明確であり、なおかつ伝来の所以を記した書類が添う例は他になく、美術工芸的価値はもちろんのこと、資料的価値も極めて高いものです。</p> <p>この雛道具は制作年代の定かでない遺品の多い雛道具の研究上、基準資料として第一に挙げるべき作品であると考えられます。</p> <p>これらの点から県指定する意義のある作品であると言えます。</p>		

熊本藩細川家九曜紋・庄内藩酒井家酢漿草紋入り雛道具 一式
附 雛道具揃覚

注) 資料の並び順はできる限り目録に記載されている順番とした。
(内容項目にある※印の資料は、目録順とは異なっている)
資料名称は、目録の表記では無く、箱書きの表記に準じた。

【雛道具】

資料名称	員数	内容	寸法 (縦×横×高さ cm)	写真画像		
1 御厨子	2	厨子1 外箱1	13.5×34.5×24.8 15.7×37.8×30.3			
2 御黒棚	2	黒棚1 外箱1	13.0×20.0×22.0 17.0×30.7×30.0			
3 御硯箱	2	硯箱1 外箱1	7.7×7.0×1.6 10.3×9.5×5.2			
4 御硯箱	2	硯箱1 外箱1	8.0×7.5×1.7 11.7×10.0×6.2			
5 御料紙箱	2	料紙箱1 外箱1	12.8×9.9×4.5 15.7×12.5×7.2			
6 御はんぞう 御角盃	3	はんぞう1 角盃1 外箱1	5.5×9.0×5.5 12.2×20.0×8.0 23.0×15.0×12.5			
						
7 御香盆	19	香箸2対 灰おさえ2 澄からはさみ2 澄から入れ2 たき物入れ3 香盆2 聞香炉2 六角盆1※ たきもの壺1※ 道具立て1 外箱1	長さ10.3 8.1×1.7 6.0×1.8 2.0×1.5 2.0×2.5 7.5×10.7×1.0 2.6×2.8 5.5×高さ1.0 口径3.8×高さ3.8 口径2.0×高さ4.1 12.5×12.5×6.0			
8 御沈箱	8	小箱6 沈箱1 外箱1	1.7×1.4×1.1 5.0×4.5×4.0 7.5×7.5×6.5			

熊本藩細川家九曜紋・庄内藩酒井家酢漿草紋入り雛道具 一式
附 雛道具揃覧

注) 資料の並び順はできる限り目録に記載されている順番とした。
(内容項目にある※印の資料は、目録順とは異なっている)
資料名称は、目録の表記ではなく、箱書きの表記に準じた。

【雛道具】

資料名称	員数	内容	寸法 (縦×横×高さ cm)	写真画像
9 御大角赤	2	大角赤1 外箱1	12.5×9.5×7.8 14.5×12.5×13.0	
10 御小角赤	2	小角赤1 外箱1	7.0×8.5×6.0 11.7×10.0×10.5	
11 御十二の手箱	14	長方形箱4 正方形箱4 丸箱2 正方形箱2 十二の手箱1 外箱1	3.0×2.5×2.0 2.9×2.9×2.0 直径2.3×高1.8 2.9×2.9×2.5 11.0×9.5×8.0 13.5×12.5×12.0	
12 御大文箱	2	大文箱1 外箱1	19.0×5.5×4.5 21.2×9.0×8.5	
13 御小文箱	2	小文箱1 外箱1	16.5×5.2×4.4 18.5×8.7×8.0	
14 御はらい箱	2	はらい箱1 外箱1	12.0×9.7×7.4 15.0×12.7×14.0	
15 御歯黒箱	2	歯黒箱1 外箱1	5.0×4.5×5.5 7.7×7.0×9.0	
16 御渡かね箱	3	渡かね1 渡かね箱1 外箱1	10.2×1.6×0.1 11.5×3.0×2.5 14.2×6.5×6.7	

熊本藩細川家九曜紋・庄内藩酒井家酢漿草紋入り雑道具 一式
附 雑道具揃覚

注) 資料の並び順はできる限り目録に記載されている順番とした。
(内容項目にある※印の資料は、目録順とは異なっている)
資料名称は、目録の表記では無く、箱書きの表記に準じた。

【雑道具】

資料名称	員数	内容	寸法 (縦×横×高さ cm)	写真画像
17 御短冊箱	2	短冊箱1 外箱1	11.0×2.5×2.3 13.3×5.5×5.5	
18 御水引箱	2	水引箱1 外箱1	11.2×2.5×2.0 13.6×5.5×5.0	
19 御色紙箱	2	色紙箱1 外箱1	5.0×5.0×1.4 7.0×6.5×3.8	
20 御耳盥	2	耳盥1 外箱1	8.5×11.0×4.5 11.7×10.6×8.5	
21 御櫛箱	7	櫛5 櫛箱1 外箱1	1.5×3.3×0.1 7.3×6.0×4.8 9.5×10.0×9.7	
22 御鏡台	28	鏡台1 丸鏡箱・小2 丸鏡箱・大1 丸鏡・小2 丸鏡・大1 櫛拵1 櫛拵1 櫛3 色尺長3 はさみ1 毛抜き2 こうがい(筭)1 象牙小箱1 水汲み2 紅うつし猪口1※ おはぐる猪口2※ おはぐる箱2※	9.4×9.4×19.5 直径4.1×高さ1.6 直径4.7×高さ1.7 直径3.6×高さ0.4 直径4.0×高さ0.4 5.1×1.2 4.6×1.3 1.5×3.1 長さ7.3、5.2、4.0 1.3×5.0 1.0×3.9 長さ8.2 1.6×2.3×1.8 2.0×3.3×1.2 口径2.5×高さ1.5 口径2.8×高さ1.8 3.0×3.0×3.0	
				
				
23 御寄掛	2	寄掛1 外箱1	13.2×9.0×8.8 16.0×12.7×13.5	